



他職種へも拡大

最初の特定技能ドライバーとなるのはベトナム国籍のグエン・カクティップさん

礼拝室の前で瀧本部長
⑥、東課長

んで、来日して3年間、カミシマ運輸で技能実習生として工業包装作業に従事。26年7月に技能実習生から特定技能の在留資格に移行し、日本の自動車学校で準

「ドライバー・コンテスト」で、来日して3年間、カミシマ運輸で技能実習生として工業包装作業に従事。日本人社員との関係も良好で、トラブルは全く発生していないという。

中国トラック協会(小丸成洋会長)は7月29日の理事会で、任期満了前に退任した森井茂人常任理事(広島)の後任に若林達美理事(同)を選んだ。2026年度の最重点施策では、事故防止やトラック適正化2法と改正物流法への対応な

永山専務が社長昇格

福岡ロジテック 人材確保・育成へ力

福岡ロジテック(福岡県宇美町)は1日、経営計画発表会で、永山祐資専務が社長に昇格する人事を発表した。同日付で就任。永山氏は「企業風土を構成し未来へ挑戦」をスローガンに、人材の確保・育成や拠点網拡充、情報化推進、新規事業などを推進する方針を示した。

2027年7月期は、同社と福岡ロジテック九州(永山美由紀社長、同)福岡ロジテック関東(関谷雄一社長、茨城県ひたちなか市)の経営統合を推進。売上高は3社合計で前期比8・7%増の25億円を目指す。

拠点展開は、埼玉営業所を埼玉県川越市に移転したほか、今夏、福岡県糸島市に福岡西営業所を開設する。重点目標に、求荷求車事業の活性化やSNSを活用した人材確保と集客、取

年8月から自動点呼システムを導入する。業務用大型オープンを使用したスリーツ製造・販売にも乗り出す。福岡ロジテックの永山浩二代表取締役が「経営のエンジン」は「夢」であり、ブレイキ・ハンドルが「返済

と資金繰り」と述べ、理想を追う情熱と、足元を固める数値管理の両立を強調。「社員が定年時に家族と『この会社で良かった』と思える組織を目指そう」と次世代の経営陣にエールを送った。(上田慎二)

創立30周年を祝う

人を大切にする経営

福岡ロジテックは1日、創立30周年式典を開催した。社員とその家族を招き、30年の歩みを振り返るとともに、同日付で就任した永山祐資社長による新体制の下、さらなる飛躍を誓い合った。

創業者の永山浩二代表取締役は、社員5人から始まった当時を振り返り「社員とそれを支える家族の存在があつてこそ、当社の今日がある」と感謝を述べた。また、創業以降の「親切、選ばれる会社」という精神



「社員の安心と家族を守る環境を変えてはならない」と永山社長

が成長の礎になったと語り「30周年は新たな出発点。40年、50年先も社員が誇りを持てる会社を目指してほしい」と、次代を担う若手に期待を寄せた。

デイ・クリエイトの上西一美社長による事故防止研修が行われたほか、表彰式では、業務成績や保守管理

佐ト協ドラコン

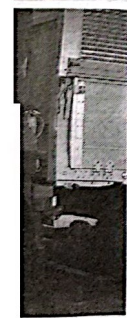
盛川選手が最高得点

佐賀県トラック協会(馬渡雅敏会長)は1日、トラックドライバー・コンテストを開いた。4部門に選手22人が出場し、盛川選手が最高得点



各部門の優勝者は10月24、25の両日に茨城県で開かれる全国大会の切符を手にした。また、総合最高得点者に贈られる佐賀運輸支局長賞には、盛川選手が輝

大手が活躍 大ト協



大分県トラック協会(仲浩会長)は1日、トラックドライバー・コンテスト県支部

ックカーゴ)▽3位石橋弘成(日本通運福岡ロジスティクス支店)

(園川萌子)